

# 図書館だより



大聖寺高校図書委員会発行  
令和2年2月号

差し込む陽ざしがあたたかくなってきました。頼にあたる風が新しい季節を運んで来るようですね。図書室には冬に入った新しい本がたくさんあります。みなさんぜひ見に来てくださいね。



## 大事なお知らせ

本を借りたままにしている人、すぐに返してください。  
**春休み中図書館は閉館しますが、本の返却はできます。**  
本を返す人は図書室前にある返却ポストに本を入れてください。



こういうポストが置いてあります。  
図書室が閉まってもこの中に本を入れれば返却完了！

## 春の特別貸出

期間：3月3日（卒業式の日ですが司書がいる時間は開館します）

～3月24日

貸出冊数：1人6冊まで



ポイント3倍

★借りている本をすべて返却してから借りてください。

★期間中に借りた本の返却はいずれも始業式の日です。

### 新着図書からおすすめの本

『月とコーヒー』吉田 篤弘

甘くないケーキ、トカゲ男、サンドイッチを届ける夜の配達人、トランプのジョーカー、青いインクをつくる青年、年老いた泥棒、落ちてきた天使、終わりの風景が見える眼鏡一。忘れられたものと、世の中の隅の方にいる人たちの24のお話。

『本と鍵の季節』米沢穂信

堀川次郎は高校二年の図書委員。放課後の図書室で、同じく図書委員の松倉詩門と当番を務めている。背が高く顔もいい松倉は目立つ存在。そんなある日、図書委員を引退した先輩女子が訪ねてきた。亡くなった祖父が遺した開かずの金庫、その鍵の番号を探り当ててほしいというのだが…。図書室に持ち込まれる謎に、男子高校生ふたりが挑む全六編。

『ぼくはイエローでホワイトで、  
ちょっとブルー』

ブレイディ みかこ

優等生の「ぼく」が通い始めたのは人種も貧富もごちゃまぜの「元・底辺中学校」だった。人種差別丸出しの美少年、ジェンダーに悩むサッカー小僧。時には貧富の差でギスギスしたり、アイデンティティに悩んだり。世界の縮図のような「元・底辺中学校」での日常を描く。ノンフィクション本大賞受賞作。

『こども六法』山崎 聡一郎

いじめや虐待は犯罪。人を殴ったり蹴ったり、お金や持ち物を奪ったり、SNSにひどい悪口を書き込んだりすれば、大人であれば警察に捕まって罰を受ける。それは法律という社会のルールによって決められていることです。けれど、子どもは法律を知らない。もし法律という強い味方がいることを知っていたら、もっと多くの子どもが勇気を出して助けを求めることができ、救われるかもしれない。大人も子どもも法律とはどんなものかを知ることができる本。そしてあなたが何か困ったときにそれを解決できるヒントになるかもしれません。

### コミックス

「ちはやふる」「宇宙兄弟」が少し入りました。

「大家さんと僕」も入りました。

『椿宿のあたりに』梨木香歩

皮膚科学研究所の佐田山幸彦は三十肩と鬱で、従妹の海子は階段から落ち、ともに痛みで難儀している。外祖母・早百合の夢枕に立った祖父から、「稲荷に油揚げを……」の伝言を託され、山幸彦は、鍼灸師のふたごの片われを伴い、祖先の地である椿宿へと向かう。そこで彼は佐田家の歴史や屋敷にまつわる藩主の兄弟の争いから生じた惨事を知る。そして、椿宿の土地が天変地異を経てどのような変化を遂げてきたのかを教えられる『古事記』の海幸山幸物語に3人目の宙幸彦が加わり、事態は神話の深層へと展開していく。

図書館報を作りました。  
先生方のおすすめの本が紹介されています。  
みなさん読んでくださいね。

